

平成29年12月22日
東部農林振興センター 雲南事務所 農業普及部

| | |
|-----|-------------------------------|
| 標 題 | 飯南トマト、右肩上がり中。継続的な右肩上がりを目指して！！ |
|-----|-------------------------------|

(ダイジェスト)

12月21日に飯南町施設園芸組合トマト部会の反省会が行われました。昨年と比較し出荷量、販売金額ともに順調に増加しました。病虫害の発生や管理など今年悪かった点の対策をきちんと行い、来年以降も関係者一体での新規就農者の掘り起こしや生産技術指導により継続的な生産拡大と品質向上を目指します。

飯南町施設園芸組合トマト部会（部会員7件）の今年度出荷反省会が12月21日に行われました。今年はお荷量46.7t（前年対比106%、4年前比168%）、販売金額は13,130千円（前年対比105%、4年前比152%）で平成25年から順調に右肩上がりが続いています。主な要因はこの間に新規就農者2名が栽培開始し、順調に生産量を増やしていることと、集落営農法人1法人がリースハウス団地に入植し生産を開始したことが上げられます。

ただ、目標単収8t/10aに対し、現在の単収は5.5t/10aとまだ届いていません。また、秀品率も目標30%に対し、15%と半分の状態です。今年の状態を踏まえ、以下のとおり課題と対応策の指導を行いました。

課題①「花房4～6段にかけての花飛び」

（原因）開花時の高温及び樹勢低下

（対応策）遮光によるハウス温度低下、第4花房下のわき芽利用による主枝更新

課題②「裂果による品質低下、収量減少」

（原因）日焼け、ハウス内湿度低下で果皮が固くなる、土壌水分の急激な変化

（対応策）遮光、少量多灌水、ハウス内乾燥の場合は夕方に通路へ打ち水

課題③「病虫害による品質低下、収量減少」

（原因）薬剤散布のタイミング、散布量の不足

（対応策）ハウス内温湿度と初発時期確認の徹底、登録に沿った薬剤十分量の散布

現在、同部会は1名が町内の法人にて就農前研修中、2名が次年度からトマトでの研修を計画中です。新規就農者の1名がリースハウス団地を活用し規模拡大を予定しています。今年度から共同選果施設も稼働し始めました。生産拡大に向けた人の確保と環境整備が着々と進んでいます。研修受け入れ先のT法人代表も「新たにトマト栽培を始めたい若者をどんどん受け入れ、飯南町を夏秋トマトの産地として確立し、地域農業を盛り上げたい。」と継続的な研修生受け入れを希望しています。飯南町の地域農業再生協議会就農支援チーム及び農業振興協議会特産部会では入口である就農相談から生産技術支援まで、トマト産地として右肩上がりが続くよう支援を行うこととしています。